

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策として、近隣の協力が不可欠であり、今後も地域の避難訓練にも参加し、連携を深める必要がある。	災害時、地域住民と協力体制ができる。	・地域の活動に参加するとともに。災害対策、防災について話し合う機会を作る。	12か月
2	48	理念にも掲げている普通の生活を支援することを目標にケアを行っているが、認知症や身体が重度化するにつれてなかなか支援できていない。	・楽しみごとの支援ができる。	・好きな食べ物をお聞きし、外食に出かけたり、外へ散歩に出かけるなど、楽しみを見つけていただくための支援を行う	12か月
3	37	理念にも掲げている普通の生活を支援することを目標にケアを行っているが、認知症や身体が重度化するにつれてなかなか支援できていない。	・利用者の希望をお聞きすることができる。	・行きたい場所をお聞きし、職員やご家族様と一緒に出かける。	12か月
4	55	年齢を重ねるごとに、ADLは徐々に低下してきている。できることを増やしていく支援が必要。	自立した生活が送れるよう支援できる。	定期的に運動を実施し、ADLの現状維持に努める。体力測定を、半年に1回の割合で実施する。	12か月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。

注3) この目標達成計画は、外部評価結果が確定した後作成し、評価機関へ送付してください。また、評価結果と一緒に市町村に提出してください。